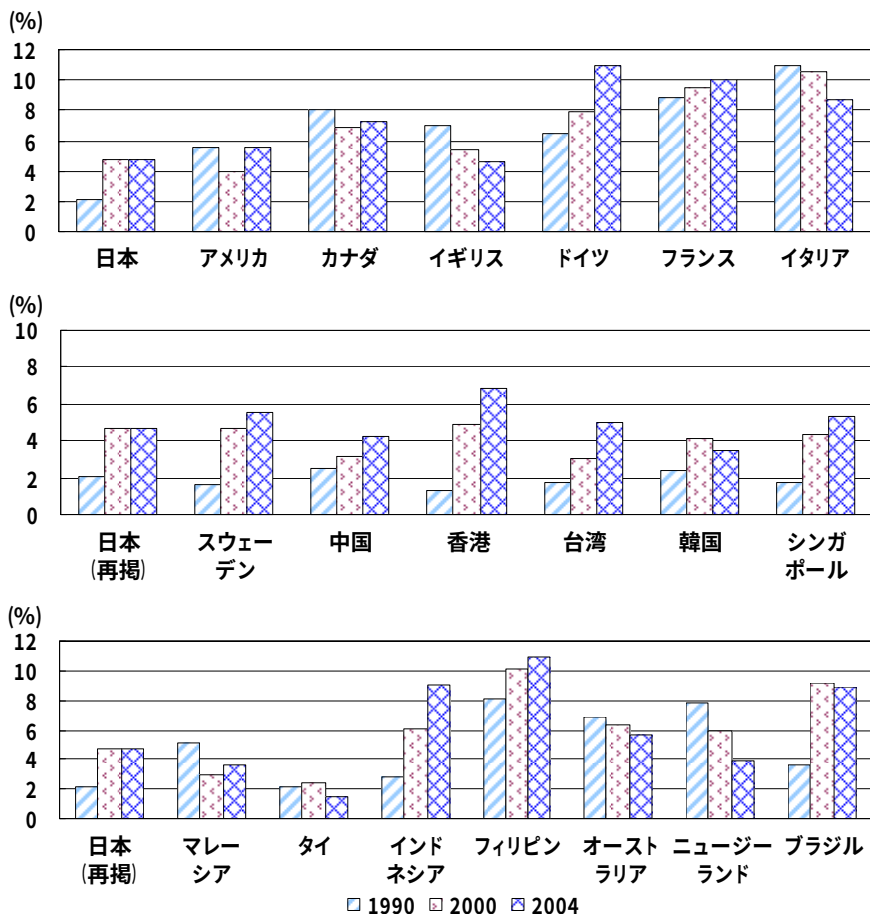


4-2 失業率(各国公表値)



▶ グラフの具体的な数値および資料出所については、「第4-2表 失業率(各国公表値)」(p.130)を参照。
 (注) イタリア、台湾、マレーシアの2004年は2003年値、インドネシアの2004年は2002年値、ブラジルの2000年は2002年値を使用。

各国の1990年代から2004年にかけての失業率の動きをみると、日本をはじめとするアジアの国・地域やブラジルでは、失業率が上昇傾向を示しているが、イギリス、イタリアやオセアニアでは、一旦高まった失業率が低下傾向を示している。こうした違いの背景には、成長率の違いなどの景気動向ばかりでなく、年齢、民族などの人口構成や政策制度面での違いなどの構造的要因もあると考えられる。なお、失業率は各国ごとに定義が違うので、公表値をそのまま比較することは適当でない。